

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 平均農地面積0.5ha、1ha未満の農家が6割を占める零細な生産構造の地区で、農作業が非効率となっている。
- 農家の高齢化、後継者不足が進み、農地荒廃の防止等の地域農業を維持するため、担い手の育成と農地の集積・集約が課題。

【支援内容・背景】

- 離農者の増加に伴い農地の荒廃が懸念され、将来に渡っての地域農業の維持に向け、中核的な経営体の生産性向上と農地の集積・集約を支援する必要。
- 助成対象者は地区内で水稻とトマトの大規模複合経営を営む法人であり、地域農業のリーダーとして離農者の農地の引受けや農作業受託に取り組む。また、雇用の場も積極的に提供。このため、地域農業を牽引する中核的経営体として育成・支援。



助成対象者「(株)グリーンカルチャー」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成15年 農作業受託組織を設立
- 平成23年 法人化(株式会社)、農業経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○ 水稻の生産性向上を図るためには、経営面積の拡大とともに、作業の効率化が必要。水稻の乾燥調製作業の効率化、省力化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】 〈R元年度〉		【現在の経営状況】 〈R4年度〉
○売上高 82百万円	《事業による整備内容》 ○ 乾燥機 1台 事業費 5,821千円 (うち国費 2,646千円) ○ 粳摺機 1台 事業費 3,811千円 (うち国費 1,732千円) 	○売上高 92百万円 (111%)
○経営面積 54.7ha		○経営面積 65.7ha (120%)
(水稻、トマト)		(水稻、トマト)

事業の
効果

《対象者》 地域内の水稻の乾燥調製の引受け拡大により、作業効率が向上し、経営面積の拡大が実現。

《地区》 水稻の生産体制の強化が図られたことにより、地域の農地の集積・集約が進み、生産性向上と農地荒廃の防止等に貢献。